

令和3年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

II 契約実施機関が締結する契約(地方防衛局等が発注する建設工事等を除く。)に関する審議

審議対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日	
審議対象件数	1,012件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	2件	(審議概要) 1 抽出事案について
一般競争	2件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○ 委員からの意見・質問	【発注実績について】 特に意見なし	
○ それに対する回答等	【抽出事案について】 1〔令和2年度駐留軍等労働者に対する健康診断等に係る業務委託〕 ・高落札率となった要因について説明してください。 ・1者応札は継続しているのですか。 ・1者応札が続いているとしたら、一般競争入札として実施しても、競争性が働いていないと見られることがあると思いますが、どう考えられますか。	・健康診断業務については、入札参加業者を含む3者から参考見積を徴収し、予定価格を算定しています。 しかし、3者中2者については、参考見積には協力頂けるものの、基地従業員が約1800人と多数であり健診体制を整えることが難しいとの理由により入札に参加してもらえず、結果、1者応札となり、高落札率となったものと考えます。 ・ここ5年間は1者応札が続いています。 ・多くの業者に参加してもらい、1者応札を回避するため、常時検討を行っています。 例えば、健診車等を用いて基地内で健康診断を実施できれば、基地近隣の業者でなくても参加可能なため、米側に対して働きかけを行っています。しかし、人の出入りを制限する必要があるため、また、健診場所の確保が難しいとの理由から現時点では対応できない旨の回答を得ています。

	意見・質問	回答
<p>○ 委員からの意見・質問</p> <p>○ それに対する回答等</p>	<p>・規模が大きいのであれば、例えば、健診種別毎に分けて発注することはできないのですか。</p> <p>・参加業者を増やすため、常時方法を模索することが重要だと考えます。 また、参考見積を徴収するにあたり、佐世保地区に限定するのではなく、例えば長崎県内、隣県等に広げて徴収し、精査してもよいのではと考えます。</p> <p>2 [鹿屋飛行場周辺地区(2)牧草売払]</p> <p>・高落札率となった要因について説明してください。</p> <p>・牧草価格の単価はどうやって算定しているのですか。</p> <p>・今回は牧草の見積単価が安価であったため、予定価格が低価格になったということですか。</p> <p>・この算定方法だと予定価格がマイナスになることもあるため、適正な予定価格を設定するにあたり他局等と情報を共有し、算定方法についてを検討してほしいと考えます。</p>	<p>・健診種別が違っていても、検査項目が重複しているものもあるため、また、事務経費が二重にかかるため、健診種別毎の発注は経費的に難しいと考えます。</p> <p>・今後検討していきたいと思います。</p> <p>・本業務については、牧草価格から工事費を差し引いたものを予定価格としています。牧草価格については、総重量に単価をかけたもの、工事費(刈取り、梱包、搬出等の費用)については、牧草地の面積を機械の作業能力で除し単価をかけたものになります。そのため、牧草地の面積が変わらない場合、牧草の収穫量によって、予定価格が増減することとなります。 令和2年度においては、牧草の収穫量が少なかったため予定価格が低価格となり、結果的に高落札率となりました。</p> <p>・参考見積を徴収しています。</p> <p>・予定価格が低価格となった原因は、牧草の単価が安価だったためではなく、収穫量が少なかったためです。</p> <p>・算定方法については、他局等の状況を踏まえ今後検討していきたいと思えます。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談 合 疑 義 件 数	0 件	(審議概要) なし
○ 委員からの 意見・質問 ○ それに対する 回答等	意 見 ・ 質 問	回 答
	なし	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	